

令和5年度 文化庁日本語教育大会（WEB大会）
オンラインワークショップ

「日本語教育の参照枠」を活用した コースデザインを考える

令和5年12月16日（土）10:00～16:45

趣旨説明

【本研修の目的】

日本語教育を行う機関においてコースデザインを行う人が
「日本語教育の参照枠」の理念を理解した上で
Can doを活用したコースデザインができるようになること

趣旨説明

【本研修の流れ】

- | | |
|-------------|-------------------------------------|
| 10:15-12:00 | 1. 「日本語教育の参照枠」について理解する |
| 13:00-14:30 | 2. 「日本語教育の参照枠」を活用した
日本語教育コースデザイン |
| 14:45-16:15 | 3. カリキュラムについて考える |
| 16:15-16:45 | 4. まとめ・ふりかえり |

趣旨説明

【各コマのねらい (Can do)】

1. 「日本語教育の参照枠」について理解する

Can do① 「参照枠」の言語観、言語教育観を理解する

Can do② 参照枠の6つのレベル、Candoの特徴を理解する

2. 「日本語教育の参照枠」を活用した日本語教育コースデザイン

Can do③ 参照枠を活用したコースデザインに必要な視点を理解する

Can do④ 「生活Cando」を理解する

Can do⑤ コースデザインの具体的な手順・方法を理解する

3. カリキュラム作成ワークショップ

Can do⑥ 分野ごとの現場に合わせたカリキュラムの作成方法について検討することができる

Can do⑦ 現場に合わせたカリキュラム作成に関する困難点・課題とその対応について

おおまかに理解することができる

講師紹介

関崎友愛 （進行・2コマ目・まとめを担当）

日本語サービスYOU&I 代表
埼玉県地域日本語教育コーディネーター

経歴：

大阪外国語大学大学院言語社会研究科修士（言語文化学）。

専門は日本語教育、社会言語学。

国際交流基金日本語国際センター専任講師を経て

2021年より「日本語サービスYOU&I」代表。

埼玉県が実施する「地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業」において地域日本語教育コーディネーターとしても活動。

その他、「生活Can do」の作成及び検証補助業務においてアドバイザー、「地域日本語教育コーディネーター研修」講師などを務める。



講師紹介

佐藤智照 （1コマ目を担当）
島根大学外国語教育センター 准教授

経歴:

広島大学大学院教育学研究科博士（教育学）。
専門は日本語教育学、認知心理学。

国際交流基金日本語国際センター専任講師、政策研究大学院大学非常勤講師等を経て、現職。
文化庁「日本語教育の参照枠」の活用に関するワーキンググループ協力者、「生活Can do」の作成及び検証補助業務においてアドバイザーなどを歴任。



講師紹介

伊藤秀明 (3コマ目を担当)

筑波大学 人文社会系 准教授

経歴:

筑波大学人文社会科学研究科 博士(国際日本研究)。
国際交流基金関西国際センター日本語教育専門員、
筑波大学人文社会系助教を経て、2021年11月より現職。

専門は日本語教育学、日本語教育方法論。

「生活Can do」の作成及び検証補助業務において、有識者委員会委員などを歴任。

